

国際ロータリー第 2550 地区  
**黒磯ロータリークラブ会報**

国際ロータリー会長: マーク・ダニエル・マローニー  
 第 2550 地区ガバナー: 川嶋幸雄  
 事務所: 〒325-0826 宇都宮市西原町 142  
 宇都宮グランドホテル内  
 TEL: 028-651-2550  
 FAX: 028-651-2551  
 E-mail: [m2550@agate.plala.or.jp](mailto:m2550@agate.plala.or.jp)



会長: 吉光寺政雄 幹事: 藤崎善隆  
 事務局: 宗教法人 日蓮宗 等覚院  
 代表役員住職 藤崎善隆  
 〒325-0045 那須塩原市高砂町5-41  
 TEL: 0287-62-0187 FAX: 0287-62-3947  
 E-mail: [jusyoku@tougakuin.or.jp](mailto:jusyoku@tougakuin.or.jp)  
 例会: 国民の祝日を含まない週の水曜日  
 12:30 - 13:30  
 割烹石山 那須塩原市本町 5-5

第2863回 吉光寺年度 第10回 会報 2019 10-2 司会 片田航介君

**お客様**

- 国際ロータリー第2550地区ガバナー  
 川嶋幸雄様(栃木ロータリークラブ)



- 国際ロータリー第2550地区  
 栃木ロータリークラブ  
 高橋達夫様



永谷義篤様

高橋達夫様

- 国際ロータリー第2550地区  
 第1グループガバナー補佐  
 川永作衛様(大田原中央ロータリークラブ)



- 米山記念奨学生  
 権鎬珍様



- 国際ロータリー第2550地区  
 栃木ロータリークラブ  
 永谷義篤様

**会長挨拶 吉光寺政雄会長**

皆様、こんにちは。本日は川嶋ガバナー、川永ガバナー補佐をお招きしてのガバナー公式訪問です。川嶋ガバナーにおかれましては、お忙しい中遠路当クラブまでお運びを頂きましてありがとうございます。このあと、卓話、クラブ協議会と長丁場となりますが、どうぞ宜しくお願い致します。

先ほど入会のセレモニーを行いました、瀧田会員、片田会員、おめでとうございます。

出席報告 出席委員会 秋葉秀樹君

(出席規定の免除会員数7名)

例会日	会員数	出席数	欠席数	出席率	MU数	修正出席率
本日 10月 2日	38 (7)	34 (5)	4 (2)	94.4%		
前回 9月11日	38 (7)	32 (6)	6 (1)	86.5%	1	89.2%

欠席の場合は前日 9 時 30 分までに次のいずれかにご連絡を。電話 62-0128、FAX62-1076 (以上石山桂子)  
 メール [gqvn2bz9k@sound.ocn.ne.jp](mailto:gqvn2bz9k@sound.ocn.ne.jp)

さて、先月9月は13日から16日に、タイ国へ消防自動車寄贈式に行きまして参りました。当クラブからは大島会員、石山会員、秋葉会員とともに参加して参りました。タイでは、地元クラブの厚い歓迎を受けつつ、宇都宮クラブを中心に宇都宮市内10クラブの皆様とともに、過ごして参りました。もとは、宇都宮クラブ主導で始めた事業であります。本年は宇都宮市内10クラブの共同事業として、代表に宇都宮南クラブの藤島会長を筆頭にご参加されておりました。



大島副会長におかれましては、事前の宇都宮クラブとの連絡調整、現地での案内とお骨おりを頂きました。ありがとうございました。現地で交換したバナー、消防車の寄贈書を回覧致します。

また、去る9月27日には、檜山情報委員長ご設営のもと、先ほど入会式を行いました片田会員、瀧田会員に、新入会員オリエンテーションを行いました。会員歴40年の相馬征志会員からロータリークラブの奉仕活動の意味やクラブの成り立ちなど長年のご経験に基づくお話を頂戴し、私も大変勉強になりました。檜山委員長、相馬会員、お世話になりました。

川嶋ガバナーの年間目標のなかに、栃木県出身の実業家であり、米山基金創設者の古澤丈作氏を顕彰することを掲げてらっしゃいます。折角の機会ですので、古澤丈作氏のご紹介をさせていただきます。米山基金は、1952年東京ロータリークラブ会長であった古澤氏によって設立されました。海外、特にアジア諸国から優秀な学生を日本へ招き、奨学援助するために設立されました。

古澤氏は、現在の上都賀郡西方町で生まれ、東京高等商業（現在の一橋大学）を卒業後、大倉組に入社され、大連、ロンドンなどに派遣されました。1927年（昭和2年）に昭和金融恐慌が起こり、当時大連支店長だった古澤氏は、会社が赤字となり、最悪の場合は役員私財提供まで話し合ったそうです。このとき、融資で助けたのが、米山梅吉氏が社長を勤める、三井信託会社でありました。伝聞ではありますが、ここから古澤氏とロータリークラブとの縁が出来たようです。当時、満州中国に進駐した日本軍の評判が悪く、現地の方の心情を和らげるべく、古澤氏を中心に大連ロータリークラブが設立され、初代副会長に就任されました。その後、日本に帰国し、東京ロータリークラブに入会、会長の

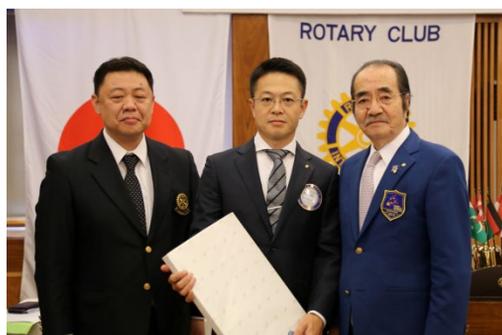
当時既に他界されていた米山梅吉氏の遺徳を偲んで、米山基金を設立されました。

当時の時代背景や、サラリーマン重役として赴任した大連で、ロータリークラブを設立し、アジア諸国の若者を奨学支援する基金設立まで奔走した古澤氏の熱い想いが伝わってくるようです。

本日はこのあと川嶋ガバナーからの卓話がありますので、このあたりで終わらせて頂きます。川嶋ガバナー、皆さま、宜しくお願い致します。

## 新入会員入会式

### ● 瀧田メディカルクリニック 委員長 瀧田雅仁様



### ● ロイヤルホテル那須 総支配人 片田航介様



## 米山記念奨学金贈呈



宇都宮大学農林共生社会科学博士課程3年 権 鎮珍君

## パナーの交換



## 幹事報告 藤崎善隆幹事

## 親睦委員会 委員長 井出法君



今月7月の誕生祝いは高木慶一君、相馬征志君です。

結婚祝いは秋間忍君、村山茂君、福田逸男君、相馬征志君です。

### ● 誕生祝い



高木慶一君 相馬征志君

### ● 結婚祝い



秋間忍君 村山茂君 福田逸男君 相馬征志君



1. 国際ロータリーより2019年手続要覧発行の案内が届きました。皆さまにメールを転送させて頂いておりますのでご確認下さい。印刷版のご購入のご案内等もメールに記載させていただきます。またウェブページよりPDF版の印刷も可能とのことです、ご確認下さい。
2. ガバナー事務所より、地区社会奉仕委員会アンケート調査のお願いが届きました。安藤社会奉仕委員長へ転送致しました。
3. ガバナー事務所より第41回バギオ訪問交流の旅のご案内、及び2019年EPN (End Polio Now)リソース・地域社会発展月間のリソースのご案内が届きました。それぞれ皆さまにメール転送をさせていただきますのでご確認下さい。
4. 11月10日國學院大學栃木学園にて行われます、国際ロータリー第2550地区、地区大会の出欠表を本日より回覧させていただきます。当日は8時30分登録・9時点鐘となっております。出欠及びバスご利用の有無と併せてご記入下さい。
5. 那須塩原ハーフマラソンのポスター並びに実行委員会の案内が届きました。安藤社会奉仕委員長へお渡ししました。
6. 10月のロータリーレートは1ドル108円と報告が入っております。

## 委員会報告 荒牧明二副会長

皆様こんにちは、委員会報告を受け付けますので、報告のある委員会は報告願います。

● **ゴルフ愛好会 秋間君**



ゴルフ愛好会から連絡させていただきます。吉光寺年度のゴルフ愛好会役員は会長が大森貞男さん、副会長がわたくし秋間でございます。事務局会計に和気勝利さんです。本日、会長の大森が所用で欠席ですので私が連絡事項を申し上げます。

例年通り年会費は1万円で各位の口座から引き落としさせていただきます。第1回目のゴルフコンペが10月20日(日曜日)那須伊王野カントリーにて開催されます。今、出欠を回覧中でありましたので是非たくさんのご参加申し上げます。

ハンディキャップなのですが、改正年にあたっております。もし、今回覧中のハンディキャップにご不満のある方は下方修正のみ受け付けますので申し出ください。

● **米山記念奨学会 委員長 田中徹君**



米山記念奨学会からご報告いたします。米山記念奨学会の個人寄付を、理事会から承認を頂きましたので、お一人15,000円を10月21日に引落しさせていただきますので宜しくお願いします。

😊 **ニコニコボックス 齋藤幸夫君**

- 吉光寺政雄君 川嶋ガバナーを歓迎して
- 小野安正君 6人目の孫が出来ました。女の子です
- 福田逸男君 金婚式を迎えました
- 秋間忍君 結婚祝いありがとうございます

村山茂君 川嶋ガバナー、川永ガバナー補佐ようこそ黒磯クラブへ

大島三千三君 川嶋ガバナーようこそ黒磯へ

高木慶一君 川嶋ガバナーを歓迎して



- RI第2550地区ガバナー川嶋幸雄様
- 朽木RC 永谷義篤様
- 朽木RC 高橋達夫様
- 大田原中央RC 川永作衛様

本日は宜しくお願い致します

● **会長エレクト 大島三千三君**



皆さん今日は、本日は那須塩原市国際交流会からご案内させていただきます。日本とオーストリアの友好150周年記念事業を10月6日(日曜日)まちなか交流センター「くるる」で開催いたします。パンフレットを皆様にお配りしました。奮ってご参加ください。

● **親睦委員会 委員長 井出法君**

親睦委員会の井出法でございます。今月10月30日(水曜日)に、観月会(夜間例会)を予定しております。回覧に出欠のご記入宜しくお願いします。点鐘が18時30分、観月会が19時から予定しておりますので宜しくお願いします。



## 卓話 国際ロータリー第2550 地区 ガバナー川嶋幸雄様



こんにちは、川嶋です宜しくお願いします。

私は8月3日に青森県八戸へ行ってまいりました。その日は八戸ではお祭りがあり新幹線もホテルも、なかなか取れませんでした。新幹線が取れそうもないなということで、取れるだけ取ろうと思ひ大宮から乗りました。その時に見たことがある2人の外国人がいて、それがマローニーさんと奥様のゲイさんでした。偶然、私はお二人の前の席で、その時に名刺をお渡しいたしました。あちらもロータリーのマークがついていたので、分かったのかなと思います。そこで名刺を頂いて尚且つバッジを頂きました。非常に貴重なバッジでして、直接RIの会長から頂いたものはなかなかありません。

とにかく、その日1日八戸までご一緒して、夕方、晩餐会がありました。前の日に日本にお着きになっていたようで相当お疲れになっていたと思いますが、奥様とマローニーさんが二次会へいらっしゃり、また偶然お隣になりました。

翌日朝早くに八戸のマーケットに行きましたが、その時にはマローニーさんはお疲れになっていてお見えにならなかったのですが、奥様だけがマーケット、朝市にいらっしゃいました。

朝市のあと大きな神社に行きました。神社の下に公衆トイレがあったのですが、3.11の津波で流されてしまったそうです。神社の方が困っていましたが、ロータリアンをお願いをして、今まで見たことがないような立派なトイレをお作りになったそうです。

なぜトイレかといいますと、ロータリーの仲間がシカゴにお作りになったのが公共トイレで、いまだに遺刻が残っているそうです。建物も何も無いのですが、建物がここにありましたというのが残っているそうです。

そこに新しい建物を建てて、今までに見たことのないような大きなロータリーのマークが、建物の入る所にあるようです。トイレもマークも全国のロータリアンが復興のためのシンボルとしてお作りになったという話を聞きました。

翌日、福島の方へ参りまして、バスをチャーターして行きました。翌々日が広島原爆を落とされた日、その広島を桜を記念樹として浪江のすぐ近くの請戸小学校へ植えてまいりました。

請戸小学校の下は何もないのですが、上のほうにはまだ残っていて、その中に3.11の津波が来た時間でぴたり止まっている時計がありました。

小学校には82人の生徒がおり、小学校に通っていた方を、どういう形で助けたかという、津波が来るとわかっていましたが、待てど暮らせどバスが来ないので、先生のとっさの判断で山の方へ生徒さんを連れて逃げたそうです。

いかにリーダーの役割が重要か。何をどうしなければならぬか、子供たちの足でも、この時間であれば全員避難させることが出来ると、機転を利かせたことで、一人の命も失うことなく逃げられました。

そのあと総武地区へ行き、ロータリアンの大会がありました。相馬の馬お祭りというのがあるのですが、それは1週間前に終わってました。それにもかかわらず旅館の方が暑い炎天下の中で、お祭りと同じ格好をして旅館の玄関前で待っておりました。しばらくして武者の格好で騎馬に乗った方々が旗を付けて馬上から口上を発し迎えてくださいました。日本独特の素晴らしい歓迎の仕方だなと思いました。

翌日バスのなかでローターアクトとインターアクトとロータリアンが、後ろの方で2時間ほどいろいろな私たちの情報交換をして、日本が震災にあったときに、日本が何をし、どうしたかが良く分かり、世界のロータリアンにいかに一致団結をして出来る事を伝えますと世界に発信しますからとってお帰りになりました。

現役の会長は個別訪問をすることはほとんどありません。今回も11月に勉強会がありますが、そういう大会には出てきても個々クラブをみることはありません。

マローニーさんは日本へ一番初めに来たかった。小さなロータリークラブの八戸・福島・東京・鎌倉へ行きお帰りになりました。小さなロータリークラブは何をどんなふうにロータリーをとらえているか、オープンなディスカッションをしたいからということで、現役で初めてお見えになったそうです。あまりお酒をお飲みにならないので、二次会になっても相当辛いと思うのですが、それでもみんなに付き合っ、とても気さくな方だなという感じを受けました。

今からマローニーさんからのビデオメッセージがあるのでそれをご覧にいます。

### 《メッセージ》

みなさんおはようございます。サンディエゴへそして2019年のロータリー国際協議会へようこそお越しくださいました。

今週私たち一人一人が始めるために2019-20年度に向けて、また2019-20年度とその先に共に歩んでいく旅は私たちが一緒につくるものです。

出身国がどこであれ、話す言語がなんであれ、文化や伝統がなんであれ、私たちがここに来た目的は一つです。それはより多くのロータリアン・ローターアクター・そしてすべてのロータリーファミリー

が、これまでよりもっとよく奉仕できるように強いロータリーを築くことです。

最初の協調事項はロータリーを成長させることです。私たちの奉仕活動やプロジェクトのインパクトを成長させること、またもっとも重要なのはこれからより多くの事を達成させるために会員基盤を成長させることです。



昨年ロータリーでは誰も望んでいなかった記録が打ち立てられました。それはロータリー退会者数の記録です。

期待した経験がロータリーで得られなかったから退会したという人たちがいました。生涯ずっとロータリーを愛しているという人たちもいましたが、彼らは去りました。その能力・経験・リーダーシップと一緒にロータリーを去ったのです。

この課題の答えは退会者のかわりに新入会者を増やすことではありません。それは穴だらけのバケツに水を注ぐようなものです。会員減の根本源はすなわち会員の不十分な参加や着実に進む会員高齢化に取り込む必要があるのです。

行動を起こす時が来ています。新しい会員モデルを作り、ロータリー入会への新しい道を開き、既存のクラブが、既存のニーズを経験で、新しいロータリークラブとロータリーアクティブクラブを作ることです。地域社会に入念な目を向けることができる、多様な委員からなる会員増強委員をクラブに設置することです。地域社会にいる人々のグループ・役職・職業のうちクラブに会員がいないのはどれかを見つける必要があるのはそういった人たちです。つまり、職業分類制度と呼ばれるものです。

113年間続いてきたものであり、それを再発見し活用する必要があります。これに加え新クラブの結成を通じてロータリーを成長させなければなりません。ロータリークラブがない所だけではなく、ロータリーがすでに活発に活動している地域社会においても新クラブを作る必要があります。

2つ目の協調事項はクラブよりも家庭に近い所にあります。それは家族です。

ロータリーの活動と家族との時間が競合せず互いに補完しあうような文化を作っていく必要があります。

3つ目の協調事項 それは忙しく仕事をしているロータリアンもロータリーのリーダーとなれるようにするための道を開くことです。ロータリーのはしごは、

のぼるのが難しいものであるべきではありませんし、その必要もありません。もっと簡単にできるのです。ロータリーでリーダーとなる事を阻む障壁の多くは私たち自身が築いたものであり、違う時代違う世代に合わせてつくられたものです。

今こそ適用し文化を変える時が来ています。これら3つの協調事項はすべて組織内部の健全さ、すなわちロータリーの成長を可能とする構造と機能に焦点をあてています。しかしロータリーは地域社会から孤立している存在ではありません。

4つ目の協調事項は長年にわたるロータリーと国連との歴史的な関係に焦点をあてます。ロータリーが大きく貢献できる持続可能な開発目標に焦点をあてていきます。

安全な水、保険の充実、教育の改善・経済の安定など、世界のめぐるまれない人たちのために、どの分野で活動する場合も、ロータリーはより健康で平和で持続可能な世界に向けた、国連の継続したコミットメントを共有しています。

奉仕と平和という精神のもとに世界中の人々がつながることができ、目標に向かって意義ある行動を起こすことのできるロータリーのインフラです。

ロータリーのビジョンには次のようにうたっています。私たちロータリアンは世界で地域社会で、そして自分自身の中で持続可能なよい変化をうむために、人々が手を取り合い行動する世界を目指しています。ロータリーを通じて私たちはつながります。ロータリーで私たちはお互いの違いを超え、深く意義ある形でお互いにつながることが出来ます。ロータリーがなければ出会う事がなかった人々、職業上の機会、私たちの支援を必要とする人たちとのつながりをもたらしてくれます。

私たちは互いに、また地域社会とのつながり、同じクラブの会員だけでなく、私たち全員が動く世界的コミュニティの人たちとつながっています。ロータリーでの体験の中核にあるのがこのつながりです。それがあから、私たちはロータリーに入会し、ロータリーにとどまるのです。ロータリーを成長させる方法もつながりにあります。

そしてこれが2019-20年度のテーマです。ロータリーは世界をつなぐ、世界がかつてないほど分断されている今日、私たち全員をつなぐのはロータリーです。比類のない基盤を有するロータリーを通じて、私たちは人類の素晴らしい多様性とつながり、共通の目的を追求しながら末永く深いきずなを続けましょう。

以上がRI会長のメッセージです。

先月の28日に日本と韓国の親善会議がありました。少し心配しておりましたが、それでも韓国のロータリアンが260名、日本の方から460名で盛大な会議がありました。政治と経済との分離することができれば、まだまだ隣の国と仲良くできるなと思いました。

仙台で有名な雀踊りがありますが、最後のフィナーレで、その踊りを韓国のロータリアンと日本のロータリアンが一緒になって舞台上に上がり、弾けた

感じで仲良くフィナーレを飾れました。

決して分かり合えない人たちではないし、話し合いを進めることによって、もっともっと仲良くなれるのではないかなと感じました。

現実的に長い歴史の中で考えたときに、隣の国というのは、日本にとって有意義な国だと思うのです。例えば百済と新羅が戦って日本が援軍にいきましたが結局負けましたが、百済の王朝と負けた人たちが日本に戻ってきて、奈良の壮大な建物などを建てたりして、そういった技術を持ち帰ってきているわけです。

そのほかに例えば現実的には豊臣秀吉が攻め入って、何をしたかと言いますと非常に優秀な陶工を連れ去るわけです。要するに基本的な技術などを持っている人たちを連れてきて日本で育てて、日本独自の文化を作っているという事もあるのです。

このあいだドイツのポツダムへ行ってきました。その時の雰囲気、会場には色々な人たちの写真が置いてありました。

わが日本国は分断されなかったわけです。どこが分断されたかという、日本の代わりに韓国が分断されて、その動乱の犠牲のもとに日本も産業が復興するわけです。トヨタなどが良い例で倒産寸前まで追い込まれて、ところが特需が出てそこで経済が持ち直すわけです。そうすると、自動車産業とともに他の産業も非常に短時間のうちに、日本が戦争負けて何もなくても持ち直すわけです。

将来的に見据えて何ができるのかという時に、目の前の短期的な現象だけに追い回されて全体的に見失ってしまっただけにはいけないと思います。歴史の必然で隣国とうまくいかない国は大体滅びるのです。だから仲良くしようと思えば仲良くできると思います。

世の中を引っ張っているのは皆様ですから、そういう力があれば、もっともっと面白い世の中、世代にできそうな気がしますよね。それを最後の最後まであきらめないで求め続ける、それが大きな力になる、そういう風に常々考えてます。以上です。



## クラブ協議会

### ● 親睦委員会 委員長 井出法君



会員相互やその家族、他各委員会とも協力し、より一層皆の親睦を深めるべく、年間行事とし観月会(10月予定)クリスマス家族会(12月予定)新年会

(1月予定)観桜会(4月予定)と夜間例会を計画的に行ってまいります。また、各月にて会員誕生日や結婚記念日の発表を行い、記念品の贈呈もしてまいります。

親睦と申しますと広い意味で私自身思っていることは、ロータリークラブ会員の年代が若い人で30代、ご高齢の方が80代と幅広い方がおられます。各年代のかた、また異業種の企業経営者の方の考え方、また時代の流れなどを含めまして、親睦を通して相互に理解することを目指しまして、年会行事を進めていきたいと思っております。

### ● 出席委員会 委員長 福田逸男君



出席委員長の福田でございます。本年度の計画ですが、出席は会員としての最大の義務であり権利で、出席せずにロータリーの目的は達成はできません。このことを徹底し4つの目標を掲げました。1、修正出席率100%を目指します。2、無断欠席、食事のムダをなくすよう努めます。3、様々なロータリー行事への積極的な参加を促します。4、メイクアップを活用し、近隣クラブへの参加と家庭集会への参加に務めます。以上でございます。

### ● プログラム委員会 委員長 月江寛智君



プログラム委員会でございます。プログラムは、ご覧の通り変則的な例会になっております。これはクラブの会費を減額しよう、会員を増やそう、退会を無くそうを目標に、だいたい月3回にしたわけでございます。従いまして2017年7月以降、年間36回の例会になっております。今年度は基本的には祝日の含む週を休みにするプログラムを組んでおります。また、クラブ協議会を出来るだけ組み入れ、

活発な意見を取り入れていこうという考えでございます。

● **スマイルボックス委員会 委員長 平山博君**



スマイルボックスを担当させていただきます平山でございます。今年4名のメンバーで運営させていただきます。対外的な活動資金の為にスマイルボックスに会員一人当たり30,000円の協力を頂いております。また、年に2・3回程度、達成状況を報告しております。

スマイルボックスが対外的な活動のため資金を集めておりますが、何に使われているのか、よく質問を受けます。これからは何に使われているか報告しなければならぬと思っております。

皆様の大切な資金でありますので、大事に使わせて頂けるよう会計と共に進めていきますので宜しくお願いします。

● **会報委員会 委員長 高木茂君**



会報委員会の委員長、高木でございます。会報委員会の本年度の計画ですが、各委員会メンバーに共有ファイルにてデータを集めまして、PowerPointを利用して会報を編集しております。

基本的に週末までに配信することを目標とします。広報委員会と連携して当クラブのホームページへ会報の掲載しております。また、近隣クラブへ紙により会報を毎月配布しております。ガバナー事務所には発行の都度メール配信しております。期末に1年間の記録用冊子一部を作成し保存します。例会以外の活動も、掲載の希望があればなるべく掲載いたします。以上が会報委員会の今年度の年度計画でございます。

● **広報委員会 副委員長  
クラブ史料委員会 委員長  
村山茂君**



広報委員長植竹君が欠席のため、副委員長の村山より本年度の計画についてご説明いたします。また、引き続きクラブ史料委員会の事業計画につきましても、私よりご説明いたします。

最初に、広報委員会ですが、近年、国際ロータリーでは、広報活動を重要視されております。黒磯クラブといたしましても、10年ほど前からインターネット上にホームページを開いたしております。その中でクラブの活動状況、会報あるいは社会奉仕活動の写真等をアップいたしております。また、クラブ活動に必要な各種書式等もホームページから引き出せるようになっております。ご覧いただければ、それなりに充実した内容になっていると考えております。

今年も引き続き内容の逐次更新等を重ね、黒磯クラブの活動状況をお伝えしてまいりたいと考えております。

次にクラブ史料委員会についてですが、書庫には紙ベースの資料等を保管管理しておりますが、先ほどのホームページを活用し、デジタルベースでの保管管理も行ってまいりたいと考えております。以上、広報委員会並びにクラブ史料委員会の事業計画の説明といたします。

● **ロータリー情報委員会 委員長 檜山達郎君**



本日は川嶋ガバナー様ご苦勞様でございます。また、お二人の随員様ご苦勞様です。私はロータリー情報委員会の檜山でございます。情報委員

会と致しましては、4項目を本年度の計画としました。一つは新入会員に家庭集会を開きロータリーの特典、義務、更には歴史等について情報を提供する事。二つ目としては、地区大会、IM、その他各種会合の情報を提供し会員の積極的参加を奨励する。三番目として、他委員会と連絡を密にしロータリー情報を会員に伝える。最後に、クラブ定款細則に変更がある場合は速やかに対応する。

一つ目の項目、新入会員に情報を提供するにつきましては、先月9月27日に行いました。ロータリーの内容につきまして相馬征志さんをお招きし、いろいろとお話を伺いました。その中で相馬さんは、特にロータリーというのは奉仕の団体だと説明されました。ですが奉仕の団体と申しましても、その奉仕を、より発展させるには会員の親睦がより大切であるという言葉頂きました。

高齢となりましたが1年間頑張りますので宜しくお願いします。

### ● 雑誌委員会 委員長 鈴木久雄君



雑誌委員会の鈴木でございます。雑誌委員会年度計画をご報告申し上げます。

公式地域雑誌「ロータリーの友」の購読とガバナ一月信を会員に配布いたします。国内の活動・RIの活動や方針の紹介を中心に、会員同志の意見交換・地区大会の後援や卓話の要旨などを掲載しておりますので、活用したいと思います。また地域の皆様にロータリークラブを理解していただくため、ロータリーの友を公共施設に毎月配布致します。配布先は、栃木県立黒磯高等学校・栃木県立黒磯南高等学校・市黒磯図書館・いきいきふれあいセンター。以上でございます。

### ● 会員増強委員会 委員長 石山桂子君

会員増強委員会の石山でございます。本年度の計画と致しまして、3点ほど掲げました。

1番目と致しまして、会長方針でもあります、会員の純増1名を目標に新入会員の勧誘、退会防止に努めます。これに関しましては瀧田メディカルクリニック委員長であられます瀧田雅仁様に入会いただきました。会員純増1名の目標は達成できましたが、吉光寺年度はこれからですので、これにとど

まらず会員の勧誘に努めていきたいと思っております。

2番目としまして、関係委員会(広報、ロータリー情報、会員選考・職業分類)と連絡を密にして会員の増強に努めたいと思います。



3番目といたしまして、会員の積極的参加を促進するよう努めます。

しばらくなかった旅行愛好会が復活しました。多くの会員に参加頂き交流を深め退会防止につながるができるよう協力したいと思っております。

以上3点ですが会員の皆様にも、ご協力いただき会員増強に1年間動めていきたいと思っております。

### ● 会員選考/職業分類委員会 委員長 和氣勝利君



会員選考/職業分類委員会委員長を仰せつかっております和氣でございます。現況報告書を御覧に頂ければお分かりの通り、会員選考は推薦された方が、入会候補者として適正であるかどうか検討・確認し、職業分類等速やかに理事会に報告して頂く。

職業分類としては、年度当初にあたり前年度までの職業分類表を参考にし、クラブ所在地域の事業所と専門職種を調査・検討し、必要に応じ訂正・見直しを行い明示する。

いずれにしても新入会員が入会しない限り、私の委員会は活性化しないので、会員増強委員会と連絡を密にして委員会を進めていきたいと思っております。

● **米山記念奨学会委員会**  
委員長 田中徹君



本年度、米山記念奨学会に配属された田中でございます。本年度の計画はクラブ寄付を地区目標である会員一人当たり19,000をクリアすべき努力する。

昨年に引き続き米山奨学生権鎬珍君をお預かり、クラブの各種事業にも参加して頂くべく、平山博カウンセラーと共に対処していく。以上でございます。

● **ロータリー財団委員会 委員長 高木慶一君**



【本年度の計画】

1. 会員の協力を頂き地区目標の会員一人あたり150ドル+ポリオプラス30ドルの寄付を頂けるよう努力する。
2. 恒久基金提供者(ベネファクター)を一名お願いします。(1,000ドル以上を恒久基金に無条件でロータリー財団に寄付した人をベネファクターと言います)
3. 村山年度で申請したロータリー財団地区補助金申請が受理されれば「小学校低学年視力増進・小学校の英語学習の推進のため」プロジェクトを実施します。
4. 2020～2021大島三千三年度ロータリー地区補助金申請を実施します。

1に就きましては10月21日に全会員から引き落としの準備が終了しています。2に就きましては副委員長の戸野俊介会委員にお願いし快く承諾を頂きました。3に就きましては9月4日の例会で目録を那須塩橋市長にお渡しして翌日の下野新聞に掲載

されました。4に就きましては大島三千三会長ノミニと何の事業をするか相談して地区に申請します。

● **青少年奉仕委員会 委員長 秋間忍君**



1. 黒磯高校インターアクトクラブの支援
  - ① インターアクト年次大会参加支援  
8月10日(土)第23回インターアクト年次大会が佐野市青藍泰斗高等学校にて開催され、黒磯高校インターアクトクラブメンバー2人、同校顧問の須藤亜希子先生、及び青少年奉仕委員長の計4人が出席しました。
  - ② 足尾植樹祭参加支援
  - ③ 海外研修支援
  - ④ 高校生ライラセミナー参加支援
  - ⑤ インターアクト会員増強支援  
当クラブがスポンサーを務めているインターアクトクラブ活動校の加藤正樹黒磯高校長に例会(11月13日)卓話を依頼しております。
2. 子供食堂の支援  
子ども食堂の詳細について川嶋ガバナーから質問があり、同食堂を運営する当クラブ会員、安藤譲治氏から直接現況説明がありました。
3. ライラセミナーの参加者募集、支援
4. 他奉仕委員会活動で青少年が参加できる事業の紹介、啓蒙、参加支援  
社会奉仕委員会が企画した那須塩原駅前清掃(10月14日)への参加を黒磯高校インターアクトクラブにも呼びかけ、一緒に清掃活動をするようになっております。
5. その他青少年健全育成に繋がる事業の協賛、協力  
4年前に地区補助金を活用して黒磯ロータリークラブが優勝カップを寄贈した「みるひいカップジュニアテニストーナメント」(毎年8月に、関東地区在住の12歳から18歳まで青少年テニスプレイヤー約300人が、くろいそ運動場に集まって開催する大会)を協賛、支援しております。

● **国際奉仕委員会 副委員長 高木慶一君**

本日鈴木隆子委員長が都合で欠席ですので副

委員長の高木慶一がご報告いたします。

本年度計画の前年度から推し進められている事業を引き継ぎ実施します、これに就きましてはすでに9月13日にタイ国RI3350地区パトムワンRCへ消防車の寄贈式に黒磯クラブから吉光寺政雄会長、大島三千三副会長、秋葉秀樹会員、石山桂子会員の4名と宇都宮RCから10名、宇都宮南RCから6名の総勢20名で行ってまいりました。

タイ、スワンナプーム空港ではRI3550地区パストガバナーのチャイワイ夫妻初めパトムワンRCのメンバーのお出迎えをうけました。

黒磯RCからの消防自動車の行先は、チェンマイにあるチェンターオRCとチョンブリー県にあるチュオンブリーRCにそれぞれ送られます。

消防自動車は火災の消火作業だけでなく水害被害の水の除去や灌漑の為の水の移動などに使われます。RI3350地区の各地RCの会長の挨拶を聞いていると消防自動車の再使用についてまだまだ必要とされているお話が多く聞かれました。今後もこの事業に取り組んでいくことが必要だと感じました。

国際大会2020(米国ハワイ州ホノルル)への参加を呼び掛けています。今のところ参加者はおりません。

ロータリーの理念に基づき、国際奉仕に関係する諸団体の活動への協力について積極的に取り組みます。

#### ● 社会奉仕委員会 委員長 安藤譲治君



社会奉仕委員会の安藤です。本年度の計画になりますが、社会奉仕の理念に基づき、各種継続支援事業の内容も含め適切に検討し、地域社会への意義のある奉仕活動を行えるよう取り組んで参りたいと思います。また会長方針の下、60年の節目を迎えるにあたり、これまでクラブで寄付してきた施設備品の修繕や、旧黒磯地区にある子ども食堂への協力や支援をして参ります。

具体的には、参加事業としまして、那須野巻祭りまつりへの人的サポート。那須塩原ハーフマラソンへの参加。足尾植樹(青少年奉仕委員会と合同)への参加。

支援活動としまして、各種ボランティア団体への活動資金援助(那須山岳救助隊・那須保護区保護司会・ボーイスカウト・ガールスカウト等)子ども

食堂への協力支援

継続事業(独自事業)として、那珂川水質調査の実施。那須塩原駅前の清掃活動。

その他、過去クラブで寄贈した設備備品の修繕。必要に応じて検討し、支援をしていきたいと思えます。

#### ● 職業奉仕委員会 副委員長 月江寛智君

職業奉仕委員会でございます。委員長が欠席でございますので副委員長、月江が代わって報告いたします。職業奉仕というのは、ご存知のようにロータリーの屋台骨でございます。ロータリーが始まって間もなく、アーサー・フレデリック・シェルドンが奉仕の理念を唱えております。ロータリーの奉仕活動に参加し力を注ぎ、シェルドンの理念を理解していただく事も仕事のひとつと考えます。

具体的には、新入会員に「四つのテストを配布する」。会員手帳を作成・配布する。そして今年度は、以前に取り組んでいた、職業奉仕月間に、地元企業の優良従業員の、表彰の復活を計画しました。

#### ● 会場監督(SAA) 澤田吉夫君



SAAの澤田でございます。本年度は当初4名で出発しましたが、本日バッジを頂きました片田君がSAAに配属されました。

本年度の目標は、現況報告書に記載されておりますが、特に会長・幹事と連絡を密にして例会がスムーズに行われること、食事が美味しくとれるようBGMを流すこと、また無断欠席を極力なくし限りある資源を無駄にしないよう努めます。

#### ● 会計 鳥居輝一君



会計を担当している鳥居です。本年度の計画としては、吉光寺会長・藤崎幹事の方針に沿って理事会の承認を得ながら迅速に会計の処理を執行して参ります。

尚、ここ数年会員数の減少により緊縮予算にて会の運営を行っておりますので、会員の皆様には奉仕活動費等のご協力を切にお願いいたします。以上が会計の本年度計画となります。

## ガバナー講評



各委員会、しっかりした目標をもって活動しておられ心強いです。

出席率は全体に高いと思いますが、メーキャップは少ないとのことですが、積極的に他のクラブの例会に出席してもらいたいとおもいます。各クラブの特徴がわかり、自分のクラブの運営にも参考になることとおもいます。是非とも他クラブの例会に出席してください。

プログラム委員会の作成したプログラムで1年間の大方の運営は決まります。できるだけ親睦の機会を設けてもっと和やかな例会にしたいとの方針であるのはわかります。若い会員と年配の会員とのコミュニケーションをうまく持つていくための工夫を考えてください。

スマイルボックスの金額は高額になりますが、主にどのように使われているかを会員に説明することは必要かと思えます。

会報と広報に関して、葛生ロータリークラブの例ですが、会員の名簿、年度の会長方針、前年度の活動報告、などをまとめたリーフレットを作成して新聞に折り込んでおります。多くの人々に活動内容を理解してもらうのも一つの方法であります。会員としての自覚も生まれるし退会防止にもなると思えます。

社会奉仕の子供食堂の協力、支援ですが内容をお聞きしますと問題なく活動しているとおもいます。衛生面でも保健所の許可を得て運営しており継続して活動してください。

青少年奉仕ですが、ローターアクトを立ち上げるのは個々のクラブだけでは無理があります。各クラブが協力してローターアクトを育て上げる体制を立ち上げる努力をすることにより交流が生まれロータ

ーアクトが誕生すると思えますので努力をお願いします。

ロータリー財団について、地区補助金が余り気味です、有意義な提案をして補助金の活用をお願いします。

米山記念奨学生の選考基準は厳しく、その中で選ばれた学生であり、将来の日本にとっては我が国のよき理解者となる人材を育てることは重要なことです。米山に多くの寄付をお願い致します。

以上が私の感想です。

## 国際ロータリー第2550地区 第1グループガバナー補佐 川永作衛様



以前から黒磯ロータリークラブには、何回となくお邪魔しております。すごく和やかで素晴らしいクラブと思っておりまして、実はガバナーに事前に報告書を提出するにあたり、黒磯クラブは各委員会パーフェクトですと報告しております。

今の時期ですと皆さん会社でも新入社員を迎えて、入社試験を行っていると思います。私のところでも入社試験を行いました。受験者うち一人の女の子は、調理専門学校の子でした。面接の際に3年間辛かったことはありますかと聞きましたら「ないです」と答えました。3年の間、楽しかったのは何ですかと聞きましたら、入学し調理士の授業が始まって、何日か過ぎに先生から、姿勢はこう、鍋はこう、言葉遣いはこうと厳しい指導を受け嫌だなと思ったそうです。でも、その先生に厳しくして頂いたおかげで、一つ一つ調理を分かってきたら、授業が楽しくなり卒業できたそうです。

ロータリーも、たぶん同じかなと思います。先ほどスマイルボックスで、寄付の使い道が分からないと質問を受けたとのお話がありました。社会奉仕、青少年奉仕などの使われております。それが分かるだけで積極的にロータリーの活動に参加すると思います。ということでロータリーの中身が分かれば、楽しいクラブになるのではないかと思います。



川嶋ガバナーと懇談会



割烹石山玄関にて記念写真



川嶋ガバナーを囲んで記念写真

## 旅行愛好会総会



9月18日(日)割烹石山にて、黒磯ロータリークラブ旅行愛好会総会が開催されました。

役職に会長 大森貞男、副会長 高木慶一 秋間忍、企画委員長 平山博 委員 片田航介 藤崎善隆、親睦委員長 村山茂 委員 植竹一裕 荒牧明二、会計委員長 稲垣政一 委員 石山桂子 鈴木隆子、顧問 黒澤洋一 鈴木久雄、事務局 藤崎善隆の布陣その他が決議されました。

## ガバナー公式訪問慰労会

10月2日(水)割烹石山にて、ガバナー公式訪問慰労会が開催されました。

司会、藤崎幹事 稲垣副幹事、挨拶 吉光寺会長、乾杯 福田逸男様、中締め 大島会長エレクトにより、盛大に催されました。



10月 2日欠席(敬称略)  
荒井昌一・鈴木隆子・大森貞男・泉道夫

前回 9月11日分メイクアップ(敬称略)  
藤崎善隆

### 次回例会

令和元年10月9日

担当 国際奉仕委員会

#### 近隣クラブ例会日

- 火曜日 西那須野/いとう屋 0287-36-0028
- 水曜日 塩原/塩原カントリークラブ 0287-35-2211
- 木曜日 大田原中央/勝田屋記念会館 0287-23-4165

#### 近隣クラブ例会日

- 木曜日 大田原/ホテル龍城苑 0287-24-2525
- 金曜日 黒羽/ホテル花月 0287-54-1105

会報委員会：高木茂・稲垣政一・鳥居輝一・秋葉秀樹